

# ユニグループ主体の共同物流で配送効率を向上 「ユニグループマザーセンター」 10/21(月)より稼働開始！

ユニグループ・ホールディングス株式会社(本社：愛知県稲沢市、代表取締役会長 最高経営責任者(GEO) 前村 哲路)は、ユニグループ共同物流の拠点となる「ユニグループマザーセンター」(以下、マザーセンター)を10月21日(月)より稼働します。

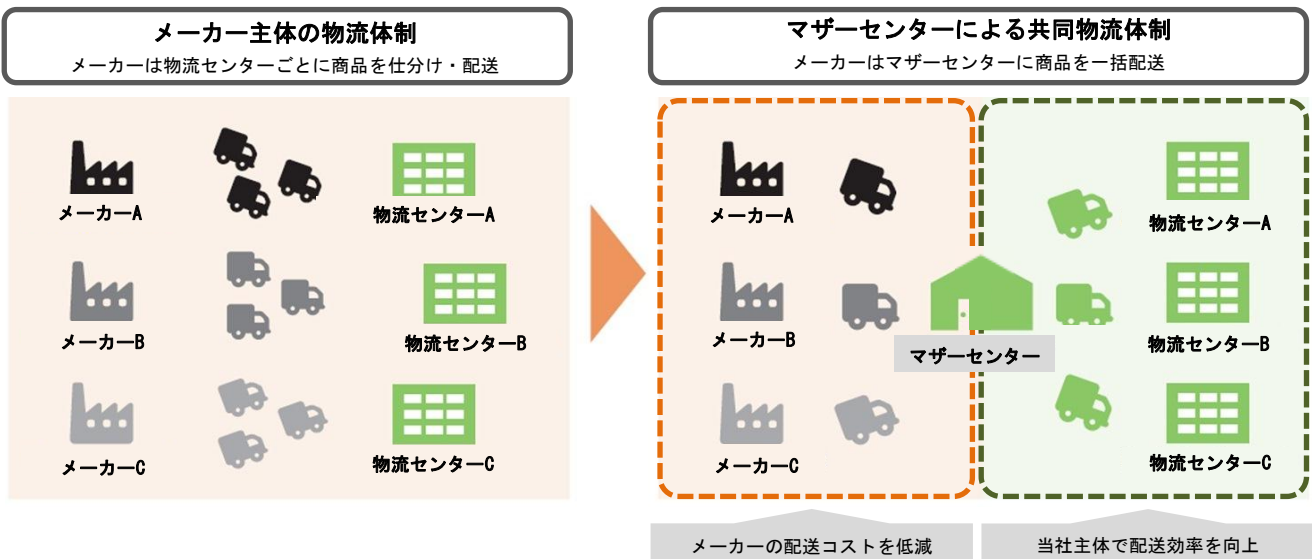
当社は、2012年5月29日に発表した「ユニグループ・シナジー5ヶ年計画」の主要施策の一つとして、「マザーセンター」により3年目の2015年度に年間7億円の利益改善を図る計画を掲げています。この計画のもと、当社は2013年2月より中京地区において実験運用を行ってまいりました。今回の「マザーセンター」はこの実験の検証結果を受け、プライベートブランド「スタイルワン」「プライムワン」の一般加工食品(菓子・飲料を除く)を対象に、計画を一部前倒しして稼働を開始するものです。

「マザーセンター」の稼働により、各メーカーは商品を一括して配送するだけで済むため、全国32ヶ所にあるユニおよびサークルKサンクスの物流センターまでの配送ラインを一本化することで、物流コストを低減することができます。これらにより、当社では年稼働で約1億円の利益改善を見込んでいます。

また、サークルKサンクスでは、小商圈対応として取り組んでいる店舗のミニスーパー化に伴い、一般加工食品の商品改廃は今後さらに増加することが予想されます。このような中、当社は「マザーセンター」を通して主体的に商品供給を行い、各物流センターの在庫量を一括管理してまいります。これにより、コンビニエンスストアでは比較的動きの少ない調味料などの一般加工食品についても、物流センターの在庫量を適切な水準で維持することができるため、機動的な商品改廃が可能となります。

当社は商品コストの引き下げに留まらず、物流改革による商品競争力の向上を目指し、今後もマザーセンターのさらなる拡大に取り組んでまいります。

## ■「マザーセンター」のスキームについて



## ■「マザーセンター」の概要

- 開設日 : 2013年10月21日(月)
- 所在地 : 愛知県小牧市上末小坊田1296番地1 株式会社トーカン小牧流通センター内
- 敷地面積 : 約1,500坪
- 取扱商品 : 「スタイルワン」「プライムワン」の一般加工食品(菓子・飲料を除く)  
(「スタイルワン」「プライムワン」の食品計の仕入高の内、約15%(2013年度上期実績))
- 運用方法 : マザーセンターより全国32ヶ所(ユニー6ヶ所、サークルKサンクス26ヶ所)の物流センターまで仕分け・配送
- 外観 :



## 【ご参考】「ユニーグループ・シナジー5ヶ年計画」

### ● 実施項目および年度別利益改善額

		1年 (2013年度)	3年累計 (2013-2015年度)	5年累計 (2013-2017年度)	合計
商流	取引条件の見直し	○	○		70億円
	ベンダー政策	○	○		
	仕入原価統一	○	○	○	
物流	マザーセンター構築		○		14億円
	物流センターの共有化		○	○	
商品	営業企画の統一	○	○		16億円
	「スタイルワン」「プライムワン」による改善	○	○	○	
利益改善合計 (内、FC加盟店分)		12.5億円 (5億円)	67億円 (27億円)	20.5億円 (8億円)	100億円 (40億円)

※「ユニーグループ・シナジー5ヶ年計画」の詳細は、下記の当社HPよりご覧いただけます。

・IR投資家情報サイト「決算説明会資料」

<http://www.unygroup-hds.com/ir/library/presentation/index.html?tab=tab02>